

Group Culture Code

いよぎんグループ カルチャーコード

2024年11月発行

グループ企業理念

〈存在意義〉

潤いと活力ある地域の明日を創る

〈経営姿勢〉

最適のサービスで信頼に応える

〈行動規範〉

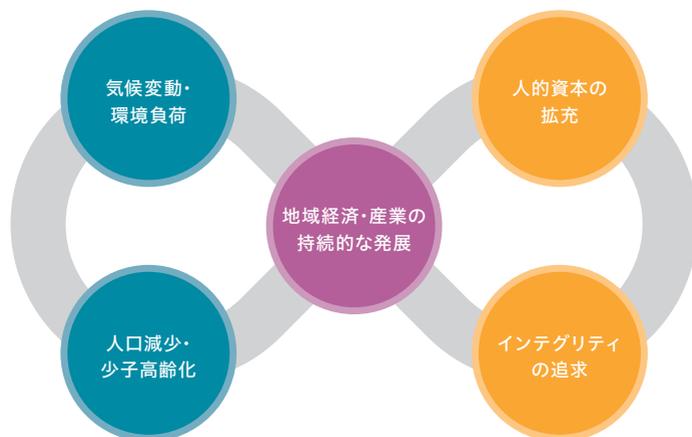
感謝の心でベストをつくす

長期ビジョン

新たな価値を創造・提供し続ける企業グループ

マテリアリティ

地域社会の変化と幅広いステークホルダーのニーズを踏まえた、
当社グループの価値創造に大きく影響する重要項目



5つの行動指針

役職員が、企業理念である存在意義・経営姿勢・行動規範を
具体的に体現していくために、5つの行動指針を定めています。

- ▶ 基本に忠実に、クイックレスポンスする
- ▶ より高い目標にチャレンジし、自分を磨く
- ▶ グローバルな視野で、地域に根ざして活動する
- ▶ 健全な心と体で、明朗な職場をつくる
- ▶ 変化を鋭くとらえ、柔軟に、積極的に対応する

グループ企業理念

存在意義

潤いと活力ある地域の明日を創る

「存在意義」とは、私たちが社会にどのような意味で有用な存在であるかを明らかにし、自らの企業使命を明確にするものです。

私たちは、ふるさとの企業グループとして、人々の暮らしと事業に潤いと活力をつくりだし、地域とともに豊かな明日をひらきます。

経営姿勢

最適のサービスで信頼に応える

「経営姿勢」とは、存在意義を踏まえて、私たちが何を心がけ、どのような目標をもって企業活動を行っていくのかという、企業経営の基本方針を明らかにするものです。

私たちは、先進的で質の高いサービスを、心をこめて提供し、人々の信頼と期待に応える企業グループを目指します。

行動規範

感謝の心でベストをつくす

「行動規範」とは、グループ企業理念や長期ビジョンを具現化するための心がまえや行動を明らかにし、組織共通の価値観を示すものです。

私たちは、お客さまへの感謝の心を行動の原点に、たゆみない自己革新につとめ、喜びと生きがいをもって、たくましく行動します。

マテリアリティ / 基本方針

地域経済・ 産業の持続的な 発展

基本方針

当社グループのビジネスモデルの変革に取り組むとともに、お客さまの新たな挑戦や価値創造を促進することで、地域の稼ぐ力を創出し、地域経済・産業の発展に貢献する。

気候変動・ 環境負荷

基本方針

当社グループが環境に配慮した事業活動を展開するとともに、お客さまの気候変動対応および脱炭素化に向けた取組みを金融・非金融の両面から支援し、豊かな地球環境・自然資本の維持に貢献する。

人口減少・ 少子高齢化

基本方針

デジタル技術を駆使した支援によって地域の生産性を向上させるとともに、付加価値の高い商品・サービスの提供や金融教育活動を通じて、あらゆる世代の人々が安心して生活できる社会の実現に貢献する。

人的資本の 拡充

基本方針

当社グループの競争優位の源泉である人財一人ひとりのエンゲージメントを高めるとともに、多様な個を尊重し、地域やお客さまへ新たな価値を提供する人財を育成する。

インテグリティ の追求

基本方針

すべての役職員が社会的倫理観に基づいて自律的に正しく行動し、誠実に職務へ向き合い、風通しのよい組織風土を醸成する。そして、公正な事業活動および透明性の高い情報開示の実践を通じて、ステークホルダーとの強固な信頼関係を構築する。

5つのマテリアリティのなかでも「人的資本の拡充」と「インテグリティの追求」は、当社グループの組織風土醸成に直結します。役職員一人ひとりが正しく理解して業務や自己啓発に取り組んでいきましょう。

人的資本の拡充

■ 人的資本経営

競争優位の源泉やサステナブルな企業価値向上の推進力となる主な要因が有形資産から無形資産に移行しつつある中で、その中核要素である人財を「資本」と捉え、その価値を最大限に引き出すことで、中長期的な企業価値向上につなげていく経営のあり方です。役職員の成長が、まさに人的資本の強化であり、一人ひとりの成長がグループ、ひいては地域の成長・発展につながっていくという考えのもと、役職員それぞれが常に一歩先の成長に向けて、業務や自己啓発に取り組んでいきましょう。

■ Well-Being

身体的、精神的、社会的にも良好な状態、端的に表現すると「幸せ」な状態のことです。「働きやすい」環境を整備するだけでなく、役職員が「働きがい」を感じ、それぞれの立場でのミッションを達成することで「幸せ」を感じられます。

私たちの「幸せ」が実現した成果として、生み出す価値を上げていくという好循環を実現し、地域に貢献していきましょう。

人財育成に関する基本方針

私たちは、「お客さま起点」を基本的な考え方とし、「専門性を高めた共創人財」や「領域ごとの専門人財」といった多様な人財が、各々の強みをつくり、得意分野を伸ばし、適材適所や適所適材で能力を最大限発揮することで、多様な価値を創造・提供できるコンサルティング集団となることを目指し、人財育成に取り組んでいます。

社内環境整備に関する基本方針

私たちは、「専門的かつ多様な人財」がエンゲージメント高く働けるよう、「働き方改革」「DE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)」「健康経営」の取組みを中心として社内環境の整備に取り組んでいます。

当社グループには、「人財育成に過剰投資はない」という考え方が、時代を超えて脈々と受け継がれています。

役職員一人ひとりの成長が、グループや地域の発展につながるという意識をもって、様々な制度や研修を活用しながら、自己啓発に努めましょう。

インテグリティの追求(役職員としての姿勢)

■ インテグリティの重要性(基本的な考え方)

「法令や社会規範、いよぎんグループの内部規程・事務規準を遵守する」という「コンプライアンス(法令等遵守)」に加え「社会的倫理観に基づき、自律的に正しい行動をする」という「インテグリティ」に基づく役職員の行動が、企業理念や長期ビジョンの実現につながります。

「ルールベース」に基づく従来踏襲の行動だけでは社会環境の激しい変化に対応することはできません。原理・原則(プリンシプル)を理解したうえで自律的に行動するという「プリンシプルベース」に基づき自らの行動を変革していきましょう。

■ 地域社会の一員として

企業理念や長期ビジョンを理解し共有したうえで、仕事や社会生活を通じて地域社会の発展に貢献するために、職業人としての高い専門性だけでなく、地域社会の一員として高い道徳観や倫理観をあわせ持ち、自律的に行動しましょう。

■ 当社グループの役職員として

私たち役職員は、お客さまだけでなく、所属する職場やその同僚に対しても「誠実」に接し、職務に「誠実」に取り組みましょう。

上司の皆さんは、ルールや職場規律についての教育を徹底し、自らの行動を振り返り、自ら率先して同僚の模範となる行動をしていきましょう。

誰もが安心して働ける職場づくりに努め、ハラスメント行為に対しては、関係部と連携し、毅然と対応しましょう。また、部下からの問いかけに対しては、どんなに些細なことであっても真摯に対応し、自由に話しかけられ、何でも相談しやすい雰囲気づくりに努めましょう。

社長メッセージ

インテグリティを追求した、一人ひとりの自律的な考えと行動が、組織の活性化につながり、これが長期ビジョン「新たな価値を創造・提供し続ける企業グループ」、ひいては「潤いと活力ある地域の明日を創る」という企業理念の実現に繋がっていきます。



基本に忠実に、クイックレスポンスする

■ アクションポイント

私たちは、正確で迅速な事務が、仕事の基本であることを理解し、お客さまのニーズに、素早く、的確に応えます。

POINT

事務処理を正確に行うため、「なぜこの手順があるのか」と、仕事の流れやプロセスを仕組みから理解するように心がけましょう。

チームワークとコミュニケーションを重視し、部下の指導にあたっては成果だけにとどまらず、そのプロセスについて、仕事の基本に則り、適切なアドバイスをするよう努めましょう。

POINT

お客さまに向き合い、その状況や課題を「知る」ことが出発点です。全ての役職員がそれぞれの立場でお客さまのことを「知る」よう努めなければなりません。また、お客さまの課題は金融に限りません。お客さまの真のニーズや困りごとを理解し、課題解決につながる価値提供の実践を通じてCXを高めていきましょう。

POINT

正確性・迅速性が求められるのは事務処理だけではなく、お客さまへの対応全般です。

お客さまとの約束は確実に守り、タイミングを失しないよう、クイックレスポンスを心がけましょう。そして、私たちの行動の原点である「感謝の気持ち」を忘れず、笑顔や親しみのある応対をしていきましょう。

グローバルな視野で、地域に根ざして活動する

■ アクションポイント

私たちは、世界の動きが地域の変化につながるという広い視野を持ち、地域の繁栄や人々の暮らしに貢献します。

POINT

物価動向等の身近な変化は、世界各地での様々な出来事に起因しており、世界から地域に至るまで広い視野で知識を習得することが重要です。私たちを取り巻く環境は急速に変化していくため、その変化を理解し、お客さまに分かりやすく説明できる知識の習得に努めていきましょう。一人ひとりの知識習得が、組織としての価値提供力の向上につながります。日々、鮮度の高い情報収集に努め、お客さまに少しでも多くの価値を提供していきましょう。

POINT

優れた地域人であるためには、地域のことをよく知ることが重要であり、地域活動に参加することもそのための手段の一つです。身近なことから始めて、日常業務以外でも地域やお客さまに関心を持つよう心がけましょう。

POINT

地域金融機関は、常にその地域とともにあるということを忘れてはなりません。地域社会の発展に貢献するというミッションを活動の原点とし、一人ひとりが地域に溶け込んでいくことが重要です。地域社会の一員として、高い道德観や倫理観を合わせ持ち、インテグリティあふれる職場風土の醸成に取り組んでいきましょう。

変化を鋭くとらえ、柔軟に、積極的に対応する

■ アクションポイント

私たちは、社会の流れやお客さまの状況を敏感にキャッチし、タイムリーな質の高いサービスで、お客さまの満足を生み出します。

POINT

不確実性の高い現代においては、法人・個人を問わずお客さまの状況は常に変化しており、すべてが計画通りにいくわけではありません。お客さまの変化に合わせ、その時々ニーズを把握するよう努め、最適な課題解決策を提案するよう心がけましょう。

POINT

役職員一人ひとりがいよぎんグループの顔であるということを忘れることなく、お客さまを「知る」活動を心がけましょう。CX向上のためには、情報の蓄積が重要です。継続的なコミュニケーションを通じた、お客さまの声などの情報収集とその蓄積が、私たちの価値提供力の向上につながります。

POINT

環境変化に応じて、取組方針や手法を見直すことも重要です。従来の延長線上でなく、「今ならどうすべきか」ということを常に考え、新しいことに挑戦していきましょう。従来のやり方に固執することなく、一人ひとりがBPRの意識を持って業務内容の改善(アップグレード)に取り組み、捻出した時間を付加価値が高い仕事に振り向けられるよう、グループ全体で生産性向上を実現しましょう。

より高い目標にチャレンジし、自分を磨く

■ アクションポイント

私たちは、今日よりも明日と、たえずより高い目標を定め、PDC Aのサイクルをねばり強く回して、能力の向上に努めます。

POINT

地域やお客さまの課題を解決する価値提供を行うためには、自分自身の社会知識や専門知識の幅を広げる、コミュニケーション能力を向上させるなど、スキルアップに努める必要があります。余暇やすきま時間などを有効に活用し、自律的な学びに取り組むことも重要です。

POINT

自分自身のスキルアップを図るためには、目標はより高く具体性を持ち、常に一段高い水準にチャレンジし、着実にステップアップを図っていくことが重要です。自分自身のありたい姿を明確にし、意欲的な目標を設定しましょう。

POINT

当社グループは、「人財育成に過剰投資はない」という基本理念のもと、積極的な人財育成投資を行ってきました。しかし、本当に重要なのは、自律的にスキルアップに取り組む従業員一人ひとりの努力と、チャレンジを称賛し失敗を恐れない企業風土です。自分自身の成長を実感できることに喜びを感じ、組織で共有していきましょう。

健全な心と体で、明朗な職場をつくる

■ アクションポイント

私たちは、メリハリのある生活に心がけ、常にベストコンディションで、明るくさわやかな職場を創造します。

POINT

お客さまに最適な価値を提供するためには、自分自身がベストコンディションであることが重要です。健康管理は社会人としての基本であり、メリハリのある勤務と生活に心がけ、前向きにいきいきと仕事に取り組んでいきましょう。

POINT

身体面の健康だけでなく、心の健康も大切です。相手を尊重し、感謝といたわりのあいさつが素直に出るような、気持ちの通いあう人間関係づくりに努めましょう。

POINT

チームとして目的を達成していくためには、良好なコミュニケーションが欠かせません。異なる職場や立場の従業員をお互いに尊重し合い、コミュニケーションの活性化を図りましょう。そしてそれは、自分自身の考えを自由に発言でき風通しよく話し合える心理的安全性の高い職場づくりにもつながります。また、各チーム同士での横断的な議論や意見交換を通じて、自律的でフラットな組織風土醸成に取り組ましましょう。